（別記）

# 令和８年度美郷町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

## １　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域は、仙北平野の南東部に位置し、全耕地面積に占める水田の割合が約９４％で基盤整備率が約９０％と進んでおり、土地利用型農業の生産性向上等を一層進めていく必要がある。

また、主食用米と技術や機械が共通して取り組みやすいことなどを背景に、近年では加工用米、新規需要米、備蓄米などの非主食用米が増加していたが、令和７年度は米価の高騰により主食用米の生産が大きく増加した。

さらに、土地利用型の畑作物のうち、大豆の生産面積が転作作物の約６割を占めており、本地域の主要な転作作物として位置付けている。非主食用米と同様に令和７年度は主食用米の生産増により生産面積が減少した。

なお、アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト、ねぎ、ホウレンソウ、シイタケ、すいか、花き（美郷雪華を除く）、ニラ、メロン、さつまいもの美郷推進作物とセリ、美郷雪華、レンコンの美郷ブランド作物など本地域の水稲転作の対象品目は多岐にわたっている。

## ２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

施設・機械導入を支援する国・県の事業や産地交付金の県推進枠を積極的に活用しつつ、アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト、ねぎ、ホウレンソウ、シイタケ、すいか、花き（美郷雪華を除く）、ニラ、メロン、さつまいもの美郷推進作物及びセリ、美郷雪華、レンコンの美郷ブランド作物、生薬を中心に作付面積の拡大を図り、適切な肥培管理等の取組を普及させ、産地全体の生産性と収益性を図る。

特にさつまいもについては、令和７年度より、実需者からの需要の増加と、美郷推進作物に追加したことから生産面積、取組農家が増加しており、町も積極的に支援を行っていく。また、美郷雪華、生薬は町の連携企業等からの需要に応じ、生産面積の拡大を図っており、町は生産拡大に向け、積極的に支援を行っていく。

## ３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

令和７年度は主食用米の生産面積が大きく増加したが、米の需給緩和に伴って需要が減少に向かうと考えられることから、これまで同様に需要に応じた米の生産・販売を進めるとともに野菜等の高収益な畑作物の本作化を引き続き進める。また、単位面積当たりの生産性を高めるために、排水改善や作業効率の向上についても引き続き推進する。

連作障害による収量の低下を招く恐れのあるほ場においては、地力の低下に配慮しつつ県のマニュアルを活用し、計画的かつ効率的なブロックローテーションの実施による安定生産を目指す。また、園芸施設などの畑作物の作付が適している水田については畑地化について検討を進める。

営農計画書等から推進状況を把握し、点検を実施する。点検の結果を踏まえて、収益性の高い園芸作物等を中心に推進する。

主食用米からの転換作物は大豆を中心に収量の安定化と生産性の向上に資する取組を定着させていくことで、産地形成を推進する。

## ４　作物ごとの取組方針等

本地域の約 5,900ha の水田について、適地適作を基本に、産地交付金を有効に活用しな

がら作物生産の維持・拡大を図る。

（１）主食用米

消費者や実需者のニーズに対応した「売れる米づくり」を推進し、米の産地として需要に応じた作物生産を図る。

（２）備蓄米

農業関係機関、団体等との連携を強化しながら、水田の有効活用を図る。

（３）非主食用米

ア　飼料用米

農業関係機関、集出荷団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

イ　米粉用米

農業関係機関、集出荷団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

ウ　新市場開拓用米

農業関係機関、集出荷団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

また、安定的な生産・供給される産地へ誘導するべく、複数年契約の推進により作付拡大を図る。

県推進枠の活用を推進しつつ、生産拡大を図る。

エ　WCS 用稲

農業関係機関、集出荷団体、実需者等と連携を強化しながら、需要に応じた生産を行うとともに、水田の有効活用を図る。

オ　加工用米

農業関係機関、集出荷団体等との連携を強化しながら、水田の有効活用を図る。

（４）麦、大豆、飼料作物

大豆については、今後とも転作の重点作物として位置付け、産地交付金等を有効活用しながら団地・集積化を推進するとともに、モミガラ補助暗渠等による排水対策や堆肥の投入等による地力増進に努めるなど、生産性向上対策技術の確実な導入定着を図る。

麦、飼料作物については、組織経営体による団地・集積化を推進し、農業関係機関、団体等の連携を強化しながら水田の有効活用を図る。

また、畑作物の圃場については、地力の低下に配慮しつつ県のマニュアル等を活用し、計画的かつ効率的なブロックローテーションの実施による安定生産を図る。

（５）そば、なたね

不作付地を有効に活用できる作物として位置付け、地域の需要者との契約を基本として、産地交付金の活用により集積化を推進し、作付面積の維持を図る。

（６）地力増進作物

ほ場整備事業面工事後の土壌の地力低下に対し、土壌改良や緑肥効果による翌年以

降の収益力向上に資するための地力増進作物（エン麦、ライ麦、イタリアングラス）の作付を推進し、生産基盤の整備を図る。

（７）高収益作物

野菜・花き等については、複合経営の柱となる作物として位置付け、美郷推進作物や美郷ブランド作物の重点作物を選定し、産地交付金をはじめ、国や県の支援策を有効活用し、収益性の高い品目の作付拡大を図る。

特にさつまいもについては、令和７年度より、実需者からの需要の増加と、美郷推進作物に追加したことから生産面積、取組農家が増加しており、町も積極的に支援を行っていく。

また、美郷雪華、生薬は町の連携企業等からの需要に応じ、生産面積の拡大を図っており、町は生産拡大に向け、積極的に支援を行っていく。

果樹については、種なし大粒品種のぶどうなどを主力とした取り組みを進める。

生薬については、町の“生薬の里　美郷”構想に基づき、生産から出荷までの一連の体制整備により、国産優良生薬の安定供給を目指す。町の連携企業等からの需要に応じた生産面積の拡大を図り、積極的に支援を行っていく。

地力増進作物については、基盤整備事業によって整備される大区画ほ場へ、翌年度以降の作物の収益力向上を目的に、ほ場の透水性や土壌環境等の改善を期待し作付を実施する。

## ５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

| 作物等 | 前年度作付面積等 | | 当年度の作付予定面積等 | | 令和８年度の作付目標面積等 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | うち二毛作 | | うち二毛作 | | うち二毛作 |
| 主食用米 | 4,554 | 0 | 4,184 | 0 | 4,184 | 0 |
| 備蓄米 | 0 | 0 | 6 | 0 | 6 | 0 |
| 飼料用米 | 16 | 0 | 18 | 0 | 18 | 0 |
| 米粉用米 | 8 | 0 | 9 | 0 | 9 | 0 |
| 新市場開拓用米 | 3 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 |
| WCS用稲 | 84 | 0 | 78 | 0 | 78 | 0 |
| 加工用米 | 203 | 0 | 202 | 0 | 202 | 0 |
| 麦 | 0.8 | 0 | 0.6 | 0 | 0.6 | 0 |
| 大豆 | 588 | 0 | 620 | 0 | 620 | 0 |
| 飼料作物 | 313 | 0 | 323 | 0 | 323 | 0 |
| ・子実用とうもろこし | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| そば | 7 | 0 | 6 | 0 | 6 | 0 |
| なたね | 0 | 0 | 0.5 | 0 | 0.5 | 0 |
| 地力増進作物 | 0 | 0 | 35 | 0 | 35 | 0 |
| 高収益作物 | 178 | 0 | 202 | 0 | 202 | 0 |
| ・野菜 | 163 | 0 | 182 | 0 | 182 | 0 |
| アスパラガス | 3.1 | 0 | 3.3 | 0 | 3.3 | 0 |
| えだまめ | 43.2 | 0 | 46.5 | 0 | 46.5 | 0 |
| キャベツ | 11.4 | 0 | 12.3 | 0 | 12.3 | 0 |
| きゅうり | 7.8 | 0 | 8.4 | 0 | 8.4 | 0 |
| トマト（ミニトマト含む） | 9.7 | 0 | 10.4 | 0 | 10.4 | 0 |
| ねぎ | 15.7 | 0 | 16.9 | 0 | 16.9 | 0 |
| ホウレンソウ | 0.4 | 0 | 0.4 | 0 | 0.4 | 0 |
| すいか | 3.9 | 0 | 4.2 | 0 | 4.2 | 0 |
| シイタケ | 0.6 | 0 | 0.6 | 0 | 0.6 | 0 |
| ニラ | 1.8 | 0 | 1.9 | 0 | 1.9 | 0 |
| メロン | 1.0 | 0 | 1.1 | 0 | 1.1 | 0 |
| セリ | 2.3 | 0 | 2.5 | 0 | 2.5 | 0 |
| れんこん | 1.1 | 0 | 1.2 | 0 | 1.2 | 0 |
| さつまいも | 6.5 | 0 | 12.0 | 0 | 12.0 | 0 |
| その他野菜、山菜（別紙4） | 54.5 | 0 | 60.0 | 0 | 60.0 | 0 |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・花き・花木 | 8.9 | 0 | 10.8 | 0 | 10.8 | 0 |
| | 美郷雪華(種苗含む) | 0.3 | 0 | 0.5 | 0 | 0.5 | 0 |
| | 花き（別紙3） | 8.6 | 0 | 10.3 | 0 | 10.3 | 0 |
| | ・果樹 | 4.0 | 0 | 6.0 | 0 | 6.0 | 0 |
| | りんご | 0.1 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 |
| | なし | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | ぶどう | 2.0 | 0 | 3.0 | 0 | 3.0 | 0 |
| | おうとう | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | もも | 0.1 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 |
| | ブルーベリー | 1.3 | 0 | 2.0 | 0 | 2.0 | 0 |
| | プルーン | 0.1 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 |
| | キウイフルーツ | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | いちじく | 0.1 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 | 0 |
| | くり | 0.1 | 0 | 0.1 | 0 | 0.1 | 0 |
| | 柿 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 |
| | うめ | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | くるみ | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | ・その他の高収益作物 | 2.4 | 0 | 3.5 | 0 | 3.5 | 0 |
| | たばこ | 0 | 0 | 0.2 | 0 | 0.2 | 0 |
| | 小豆 | 0.3 | 0 | 0.3 | 0 | 0.3 | 0 |
| | ハトムギ | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | 生薬（カンゾウ・キキョウ・エイジツ・センブリ） | 2.1 | 0 | 3.0 | 0 | 3.0 | 0 |
| その他 | | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | ・雑穀 | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| 畑地化 | | 9.0 | 0 | 63.2 | 0 | 63.2 | 0 |
| | 高収益作物 | 3.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 |
| | その他 | 6.0 | 0 | 63.2 | 0 | 63.2 | 0 |

## ６ 課題解決に向けた取組及び目標

| 整理番号 | 対象作物 | 使途名 | 目標 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 前年度（実績） | 目標値 |
| 1 | 大豆　（基幹作物） | 単収向上対策助成 | 作付面積<br>（交付面積）<br>10a当たり収穫量 | （令和７年度）<br>596 ha<br>(558 ha)<br>168kg/10a | （令和８年度）<br>650 ha<br>(559 ha)<br>200kg/10a |
| 2 | 大豆　（基幹作物） | 大豆団地加算助成（６ha団地） | 作付面積<br>（交付面積）<br>10a当たり収穫量 | （令和７年度）<br>596 ha<br>(189 ha)<br>168kg/10a | （令和８年度）<br>650 ha<br>(190 ha)<br>200kg/10a |
| 3 | 大豆　（基幹作物） | 大豆団地加算助成（３ha団地） | 作付面積<br>（交付面積）<br>10a当たり収穫量 | （令和７年度）<br>596 ha<br>(144 ha)<br>168kg/10a | （令和８年度）<br>650 ha<br>(145 ha)<br>200kg/10a |
| 4 | アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト（ミニトマト含む）、ねぎ、ホウレンソウ、すいか、シイタケ、花き（別紙3）、ニラ、メロン、さつまいも　（基幹作物） | 美郷推進作物助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>113 ha<br>(70 ha) | （令和８年度）<br>125 ha<br>(85 ha) |
| 5 | セリ、れんこん、美郷雪華(種苗含む)　（基幹作物） | 美郷ブランド作物助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>3.6 ha<br>(2.9 ha) | （令和８年度）<br>7.5 ha<br>(4 ha) |
| 6 | その他野菜、山菜（別紙4）　（基幹作物） | その他野菜等作付助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>55 ha<br>(6.7 ha) | （令和８年度）<br>60 ha<br>(8 ha) |
| 7 | アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト（ミニトマト含む）、ねぎ、ホウレンソウ、すいか、シイタケ、花き（別紙3）、ニラ、メロン、さつまいも、セリ、れんこん、その他野菜、山菜（別紙4）、美郷雪華(種苗含む)　（基幹作物） | 野菜、花き団地化加算助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>171 ha<br>(34 ha) | （令和８年度）<br>212 ha<br>(40 ha) |
| 8 | りんご、なし、ぶどう、おうとう、もも、ブルーベリー、プルーン、キウイフルーツ、いちじく、くり、柿、うめ、くるみ　（基幹作物） | 果樹作付助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>4 ha<br>(0.3 ha) | （令和８年度）<br>6 ha<br>(1 ha) |
| 9 | たばこ、小豆　（基幹作物） | その他作物助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>0.3　ha<br>(0 ha) | （令和８年度）<br>0.5 ha<br>(0.5 ha) |
| 10 | 生薬（カンゾウ・キキョウ・エイジツ・センブリ）　（基幹作物） | 薬用植物作付助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>2.1 ha<br>(2 ha) | （令和８年度）<br>3 ha<br>(3 ha) |
| 11 | 飼料作物等（別紙5）　（基幹作物） | 耕畜連携助成 | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>428 ha<br>(8.4 ha) | （令和８年度）<br>450 ha<br>(10 ha) |
| 12 | 地力増進作物（エン麦、ライ麦、イタリアンライグラス）　（基幹作物） | 地力増進作物作付助成（地域枠） | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>0 ha<br>(0 ha) | （令和８年度）<br>34.6 ha<br>(34.6 ha) |
| 13 | そば＜基幹作物＞ | そば、なたねの作付助成（国枠） | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>7.6　ha<br>(6.4 ha) | （令和８年度）<br>6 ha<br>(3 ha) |
| 13 | なたね＜基幹作物＞ | そば、なたねの作付助成（国枠） | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>0 ha<br>(0 ha) | （令和８年度）<br>0.5 ha<br>(0.5 ha) |
| 14 | 地力増進作物（エン麦、ライ麦、イタリアンライグラス）　（基幹作物） | 地力増進作物作付助成（国枠） | 作付面積<br>（交付面積） | （令和７年度）<br>0 ha<br>(0 ha) | （令和８年度）<br>34.6 ha<br>(34.6 ha) |

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：秋田県

協議会名：美郷町地域農業再生協議会

| 整理番号 | 使途<br>※1 | 作期等<br>※2 | 単価<br>（円/10a） | 対象作物<br>※3 | 取組要件等<br>※4 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 単収向上対策助成 | 1 | 8,000 | 大豆（基幹作物） | 実需者等への出荷・販売、対象作物を10ha以上集積、生産性向上に資する取組について必須の取組（排水対策）を1つとその他の取組について2つ以上を実施、担い手の取組、秋田県の奨励品種等の作付 |
| 2 | 大豆団地加算助成（6ha団地） | 1 | 15,000 | 大豆（基幹作物） | 整理番号1を達成した上で6ha以上の団地化の実施 |
| 3 | 大豆団地加算助成（3ha団地） | 1 | 10,000 | 大豆（基幹作物） | 整理番号1を達成した上で3ha以上、6ha未満の団地化の実施 |
| 4 | 美郷推進作物助成 | 1 | 36,000 | アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト（ミニトマト含む）、ねぎ、ホウレンソウ、すいか、シイタケ、花き（別紙3）、ニラ、メロン、さつまいも（基幹作物） | 実需者等への出荷・販売 |
| 5 | 美郷ブランド作物助成 | 1 | 36,000 | セリ、れんこん、美郷雪華(種苗含む)（基幹作物） | 実需者等への出荷・販売 |
| 6 | その他野菜等作付助成 | 1 | 5,000 | その他野菜、山菜（別紙4）（基幹作物） | 実需者等への出荷・販売 |
| 7 | 野菜、花き団地化加算助成 | 1 | 3,000 | アスパラガス、えだまめ、キャベツ、きゅうり、トマト（ミニトマト含む）、ねぎ、ホウレンソウ、すいか、シイタケ、花き（別紙3）、ニラ、メロン、さつまいも、セリ、れんこん、その他野菜、山菜（別紙4）、美郷雪華(種苗含む)（基幹作物） | 実需者等への出荷・販売、対象作物を50a以上の団地化 |
| 8 | 果樹作付助成 | 1 | 10,000 | りんご、なし、ぶどう、おうとう、もも、ブルーベリー、プルーン、キウイフルーツ、いちじく、くり、柿、うめ、くるみ | 実需者等への出荷・販売 |
| 9 | その他作物助成 | 1 | 5,000 | たばこ、小豆 | 実需者等への出荷・販売 |
| 10 | 薬用植物作付助成 | 1 | 36,000 | 生薬（カンゾウ・キキョウ・エイジツ・センブリ） | 実需者等への出荷・販売 |
| 11 | 耕畜連携助成 | 3 | 4,000 | 飼料作物等（別紙5） | 資源循環取組面積に応じて支援、利用供給協定の締結等 |
| 12 | 地力増進作物作付助成（地域枠） | 1 | 0 | 地力増進作物（エン麦、ライ麦、イタリアンライグラス） | 対象作物の作付、すき込み作業等の実施 |
| 13 | そば、なたねの作付助成（国枠） | 1 | 20,000 | そば、なたね | 実需者等への出荷・販売 |
| 14 | 地力増進作物作付助成（国枠） | 1 | 0 | 地力増進作物（エン麦、ライ麦、イタリアンライグラス） | 対象作物の作付、すき込み作業等の実施（整理番号12と併せて助成） |

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「○○○（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「○○○（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙3

| |
|---|
| 花き（菊類、小菊、洋菊、ダリア、トルコギキョウ、リンドウ、アスター、リアトリス、カーネーション、ケイトウ、ソリダコ、ユリ、ヒマワリ、ラベンダー(美郷雪華を除く)、ワレモコウ、菖蒲、アジサイ、コスモス、エキノプス、グラジオラス、ストック、アルストロメリア、観賞用トウガラシ、葉ボタン、スターチス） |

別紙4 作物一覧（その他野菜、山菜）

【その他野菜】整理番号6

カボチャ・ブロッコリー・ナス・ピーマン・いちご・はくさい・たまねぎ・レタス・だいこん・にんじん・さといも・さやいんげん・とうもろこし・ばれいしょ・なめこ・舞茸・えのき茸・マッシュルーム・エリンギ・しめじ・いんげん豆・さやえんどう・しそ・春菊・ズッキーニ・チョロギ・にんにく・ウリ・オクラ・ゴーヤ・ツルムラサキ・食用菊・みょうが・ゴボウ・カリフラワー・マコモダケ・タルディーヴォ・キクイモ・長いも・ささげ・とうがらし・ししとう・パプリカ・生姜・小松菜・からし菜・カブ・ケール・コリアンダー・チンゲンサイ・冬瓜・ノザワナ・ハーブ・パセリ・ヘチマ・ミント・セロリ・水菜・豆苗・夕顔・ソラマメ・モロヘイヤ・えごま・らっかせい・きくらげ・わさび

【山菜】整理番号6

タラの芽・ふき・山ウド・わらび・ぜんまい・行者ニンニク・うるい

別紙5　作物一覧（粗飼料作物）

【粗飼料作物等の範囲】
青刈りとうもろこし、青刈りソルガム、青刈り麦（ライ麦又はエン麦を含む。またサイレージ化したものを含む。）、青刈り大豆、子実用エン麦、ＷＣＳ用稲、青刈り稲、わら専用稲、青刈りひえ、オーチャードグラス、イタリアンライグラス、リードカナリーグラス、クローバー、ペレニアルライグラス、チモシー

（注）上記の粗飼料用作物等については、食用に供される畜産物を生産するために飼養される牛に供される場合に限ります。